

# よか ネット

YOKANET

No.57 2002.5  
 (株)よかネット

## NETWORK

ひともうけ通信 11

つばたしゅういち・英子さんの生きている

田園居住博物館探検隊顛末記 ..... 2

高齢者は何処を終の住処としていくのだろうか その4

～高齢者の居住施設は、国土交通省と厚生労働省で

同じような施設を供給している～ ..... 6

遊びにおいで！うちの集落へ

～佐賀県七山村の十坊山ファンクラブ活動～ ..... 10

たくさんの「暖かさ」に包まれた保育園

～滋賀県大津市 松の実保育園～ ..... 12

データ散歩10 高齢单身男性が増えつつある ..... 13

## 見・聞・食

成功の秘訣は人と人のつながりと情報公開 ～味千ラーメン物語～ ..... 14

佐賀城下ひなまつりに思う ..... 15

## 近況

自然に産むということ ..... 18

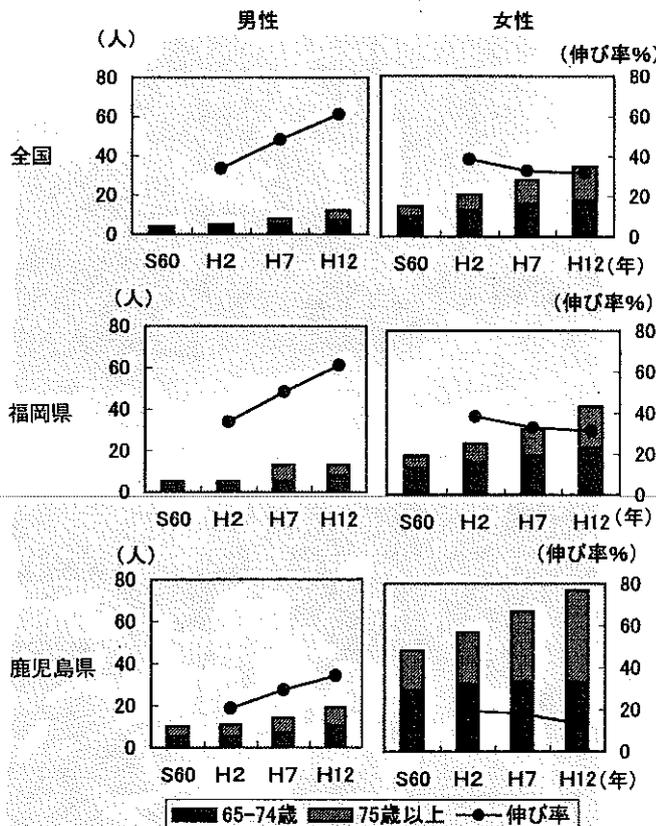
鎮海湾の桜見物は人見物であったが、韓国の明太子は、

素朴で安くてうまいのを発見 ..... 19

## 本・BOOKS

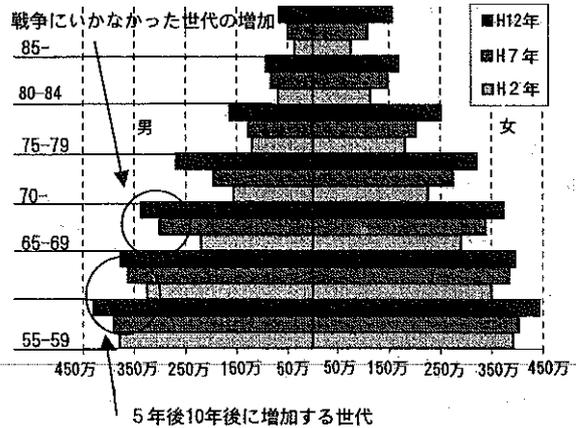
超人バッキー らくらく介護への道 ..... 19

### ●高齢单身男性が増えつつある。



資料：国勢調査  
 ※縦軸は、男女別総人口千人当たりの高齢单身世帯数である。

### 55歳以上の人口ピラミッド (全国)



平成2年以降から高齢者の单身男性が増えてきている。平成7～12年の5年間に於ける全国の男女別前期高齢者(65～74歳)の増加数をみると、女性約18.6万人、男性約16.7万人と差がない。これは戦争にかり出されなかった世代が高齢期を迎えることになったことが大きな要因である。詳細は本編の13頁に掲載している。

## つばたしゅういち・英子さんの 生きている田園居住博物館 探検隊顛末記

糸乗 貞喜

今回の「人もうけ」は一網打尽型でした。「よかネット」の56号に隊員募集をして、十人の隊員でつばた邸に押しかけました。隊員名簿は下記。

山口（イゴス）、池田（アルバック）、松井（松の実保育園）、樋口（九大）、今里（九大）、福田（伊万里はちがめプラン）、山田、本田、愛甲、糸乗（よかネット）

### ●つばた家のランドマークは林

つばたさんの家を訪ねるのは二回目なのだが、バス停のあたりからの距離感が鈍っていて、ガイド役の私が迷っていたら、「糸乗さん、林があるんでしょ。高い木のところを捜せば……」と後ろから言われて、眼をあげると小さな雑木林が見えた。

### ●一反300坪は暮らしの原単位

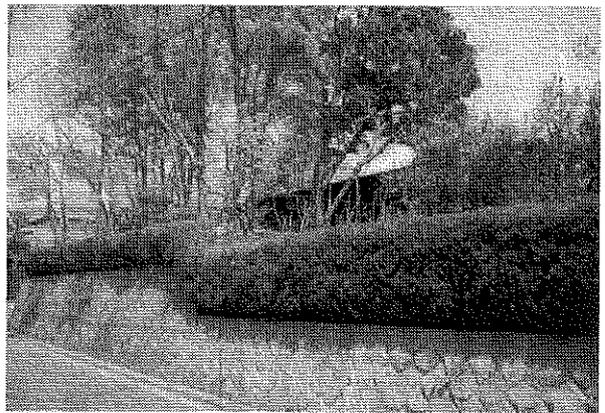
一反=300坪という土地は、日本人がたどり着いた暮らしの原単位である。つばたさんの家は、その三分の一に丸太づくりの家と雑木林がある。その丸太づくりの家は、大学を出て最初に所属したアントニン・レーモンドのアトリエの一部の再現である。木製窓枠のガラス戸に、内側は障子戸がついている。「レーモンドは、日本の気候には木造の窓と内側に障子戸と言っているね……」といいながらその戸の開け閉めをして見せ、「28年、全く狂っていないんですよ」というのが自慢である。

### ●ヨットと野生

つばた邸を訪れて、おっとりしたくつろぎを感じることでできるのは、奥様の英子さんと話している時である。と思っていたのに、ギョッとしたことがある。前回の2月に伺ったとき、クヒチでのクルージングのビデオを見せてもらいながら話していた。「奥さんも行かれたのですか」「いいえ私はヨットが好きではないのです」「でも、つばたさんも、これが最後のクルージングだと言っておられましたね」「でもねー、彼は帰ってくると人が変わってるんですよ。野性にかえってくるんですよ。やっぱり今後も行かせなきゃーと思っているんです」。これは恐ろしい人だと思った。今どき流行の「理想の男性は優しい人……」なんて柔な男ではダメだということか。野生といっても奥様のイメージにあるのは、乱暴なワイルドではなく、自然に対する適



つばたさんご夫妻



これがつばた家のランドマークタワー



庇の下のテラスでワイワイガヤガヤ、ごちそうにありつく

応力=逃げ足も含んでいるらしい。つばたさんのヨット史には何度もの遭難が書いていたようだ。「ヨットは、私にとって『心配の種』でした」といいながら、「これからも行かせなきゃ」という言葉に驚いた。

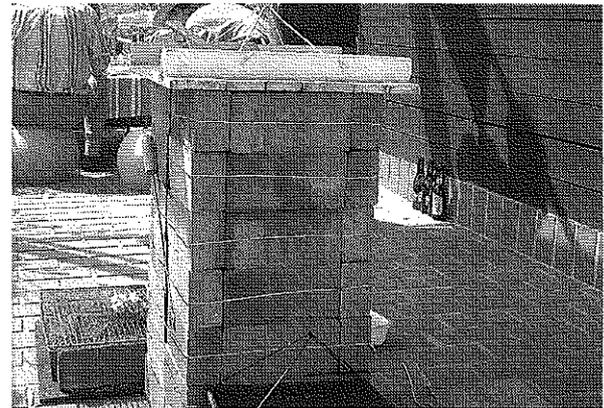
### ●縁=ネットワークの拡がり

つばたさんから「よかネット」をお送りする度に、本を出したり雑誌などへお書きになる度に、便りをいただいていた。その手紙はいちいち挿し絵つきなので、恐縮していた。つまりITなどというものより、手紙の方がはるかに情報密度は高い。絵はがきよりは手書きの挿し絵つきの方が、圧倒的に情報量が多い。

しかし実際に訪ねてみると、奥様のやっておられる情報活動の情報量は比較にならないパワーを持っている。

つばたさんが住宅公団時代のことを書いた本の中で、「この時代は、四大家族が社会の主流という単純で明解な家族像の見える時代だった。しかし、その後の二十一年間に時代の背景は大きく変わっていく。二十年たって、シングル、子供なし、子供一人世帯を合わせると八〇%以上。四大家族は二〇%に満たなくなり、その関係が逆転する。なかでも、女性の一人暮らしの増加が際立つようになる。若年の未婚、中年の非婚・離婚、後年の死別、それに同棲・事実婚など……」とふれられている。私はこれらのことを「個族化社会」といっている。個族、孤独、自立、孤立といった似た言葉があるが、孤独を楽しんだり、自立して楽しく暮らすなどと言うことは実にすばらしいことで、問題は「孤立」にある。私が言う「個族」は一人家族と世代の再生産から離れた世帯のことだが、つばた家は全く違う。特に奥様の情報活動を見ていると、「これぞ情報社会」という気がする。

まず、孫のはなごさんに対する七五三のお祝いは極めつけだ。「七五三のはじめてのお祝いの着物は、私の手織で作ろうと決めました。体のまだ小さい彼女を、サーモンピンクのお着物でくるんで、巾着の手提げとお草履でまとめれば」という思いを実行される。明治神宮に一緒にお参りしたら、「もう次の七歳の準備が始まりました」。今度は絞りの着物ということで、伝統工芸品を扱っている店に相談に行ったりしながら、三年がかりで生地を仕上げた。次の年はハンドバック。ついで長襦袢、帯など、下着の小物類を選ぶ。着物と小物と帯を合わせるために銀座に出かけ、着物には全体



ベーコンは煉瓦を針金で留め薫製機でつく。遠赤外線だから味がいい。



ベーコンタイプとイカなどのシーフードタイプのピザ



畑にはこのようにいろいろなものが植わっている



石榴も植わっている

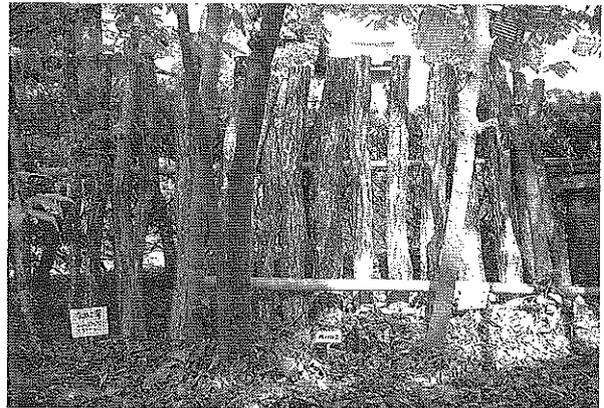


畑を支えるコンポスト、七つあって循環活用  
に四季のお花を刺繍をしていただきました、などなど。  
この間のご夫妻の花子さんに対する情報たるや、恐ろ  
しい量に達していると思う。

いろいろ書くと大変だが、ドールハウスにふれてお  
く。花子さんの六歳の誕生日に二人で手作りで贈られ  
たものです。これは写真を見ていただきたい。いずれ  
も万金に換えがたい。

●脳細胞労働価値説

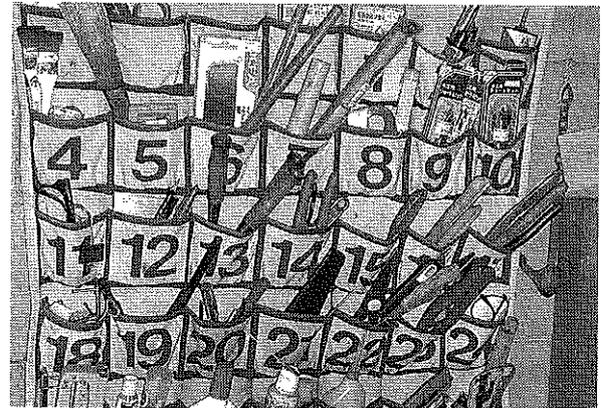
もうひとつ蛇足を許していただきたい。「万金」に代  
え難いと書いたが、私は経済的な意味でも価値がある  
と思っている。若い頃マルクスをかじって、「労働価値  
説」というのを学んだ。今では全く評判が悪い、とい  
うより問題にされていないが、私は正しいのではない  
かと考えている。ただ、マルクスは「筋肉細胞労働価  
値説」であった。しかし私は「脳細胞労働価値説」で  
ある。確かに彼の頃は筋肉細胞の寄与率が高かったよ  
うに見えるが、そもそも人間という動物は「脳細胞勞  
働をする」ということがほかと違うのではないか。こ  
のように脳細胞労働の含有率を価値基準に入れると、  
骨董なども説明できる。ものすごい人々の思いが染み  
込んでいる「すぐれもの」は価値が高い。芸術品も、  
多くの人が何代にもわたって憧れた絵や音楽なども  
「心の思いの量」が膨大であるだけ価値が高い。そうい  
う意味で、つばた夫妻の日々の活動に対して「高度情  
報社会での超先端活動奨励賞」を差し上げたいような  
気がする。月二回の宅急便という話もあった。このつ  
ばた家の宅急便は、大量の筋肉労働を含んではいるが、  
その労働の間や準備する過程、次との兼ね合いを考え  
るなど、膨大な「思い」が込められている。宅急便は  
物流手段ではなく、情報手段になっている。



椎茸も自家製



お茶のストック



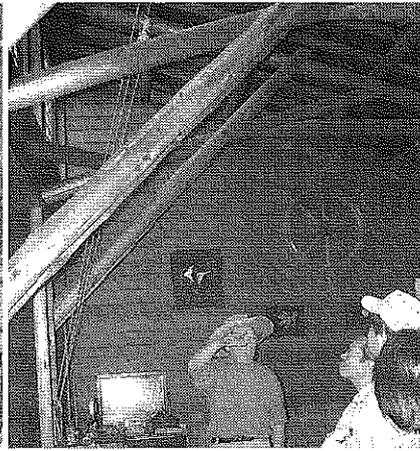
道具の整理の見本



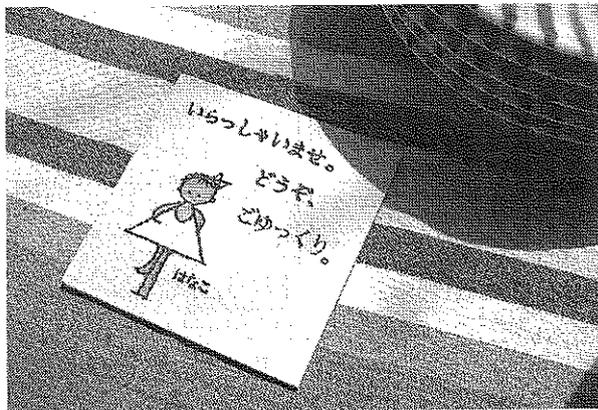
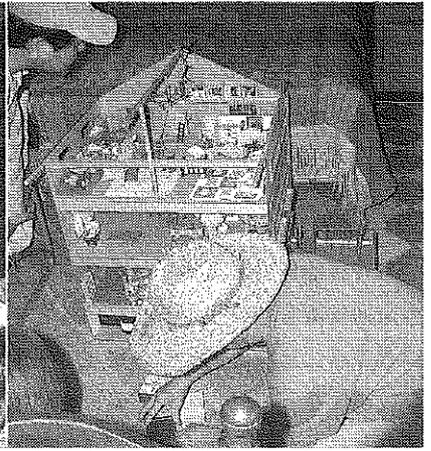
染織アトリエ



タケノコもでています



家はレーモンドのアトリエと同じ丸木づくり ドールハウス

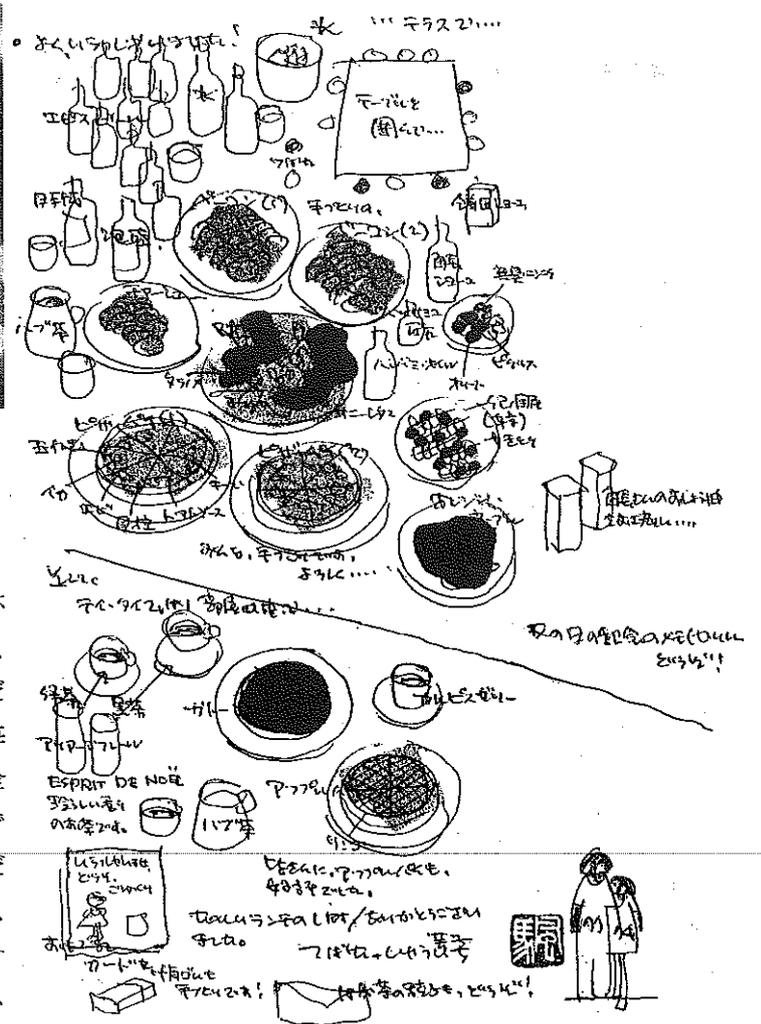


全員が、この手作りコースターを、お土産にいただいた

●たべものへのこだわり・勝手な食いしん坊・メニューメモ魔

三つのことを書く。「はくはご飯は一日四杯で朝二杯食べる」「私はパン食なんですよ」という状態になれば、多くの場合、家庭の機能停止におちいる。これをこだわりというか勝手というか皆様にお任せする。次は毎日の食事のメニューが挿し絵いりで残されており、全部がファイルされていること。これは見ているだけで「降参だ」という気になる。三つ目は我々十人がいただいた「御馳走の数々」じまん。これは前回同様手紙で、色つき挿し絵のメニューをいただいた。ベーコンやチャーシュー、焼き鳥、ピザパイ、オリーブのピクルスなどなど手作りの大攻勢。悔しい人は、5月18日の「よかネットパーティー」に壁新聞を作っておきますのでおこし下さい。

(いとりのり さだよし)



帰ったら早速当日の「ごちそうメニュー」と、私達が持っていった「おみやげメニュー」の礼状のカラーカットが届いた。読みにくい、雰囲気を見て下さい。

高齢者はどこを終の住処としていくの  
だろうか その4

～高齢者の居住施設は、国土交通省と厚生労働省で  
同じような施設を供給している～

山田 龍雄

ある自治体のシルバーハウジングプロジェクト（国土交通省所管）の仕事をしているときに、はたして高齢者の居住施設というものがどの程度あり、どのような役割になっているのかの概観を把握しておく必要があると思った。そこで今回は、高齢者居住施設で少し調べたものを整理し、私なりに疑問点や課題などを述べさせていただきます。

●高齢者居住施設をまとめて、わかりやすく説明している本は少ない

人生80年代で65歳以上を高齢者というのは、今では問題があると思うが、ここでは統計上、65歳以上を対象としてみている。65～74歳までを前期高齢者、75歳以上を後期高齢者としている。

我が国の65歳以上の高齢者は着実に増加しており、人口問題研究所の推計によると、2013年には3千万人を突破し、4人に1人が高齢者、2050年には3人に1人が高齢者になると予測されている。高齢者の予測は現実の方が上回っており、2050年より早く3人に1人の超高齢化時代を迎えることになるかも知れない。

表 全国の高齢単身世帯の推移

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
単身世帯総数	7,894,636	9,389,660	11,239,389	12,911,318
19歳未満	549,382	624,102	568,653	490,788
20～29歳	2,871,249	3,232,877	3,685,566	3,694,031
30～39歳	1,211,448	1,229,145	1,438,082	1,874,941
40～49歳	786,609	1,116,018	1,377,357	1,337,955
50～59歳	863,985	1,022,150	1,303,750	1,728,081
60～64歳	431,240	541,935	663,821	753,382
65～74歳	767,467	983,870	1,284,687	1,639,077
75歳以上	413,256	639,563	917,473	1,393,063
65歳以上計	1,180,723	1,623,433	2,202,160	3,032,140
構成比				
15～19歳	7.0%	6.6%	5.1%	3.8%
20～29歳	36.4%	34.4%	32.8%	28.6%
30～39歳	15.3%	13.1%	12.8%	14.5%
40～49歳	10.0%	11.9%	12.3%	10.4%
50～59歳	10.9%	10.9%	11.6%	13.4%
60～64歳	5.5%	5.8%	5.9%	5.8%
65～74歳	9.7%	10.5%	11.4%	12.7%
75歳以上	5.2%	6.8%	8.2%	10.8%
65歳以上計	15.0%	17.3%	19.6%	23.5%

資料：国勢調査

また、高齢者の増加とともに高齢単身者も着実に増えており、昭和60年に約118万人であったのが、15年後の平成12年には約303万人と倍以上増えている。特に後期高齢者は3倍強の増加となっている。

高齢者の概ね8割は元気な高齢者といわれており、単身の高齢者が増えてくることを考えると、入居時期には元気な高齢者を対象とした「高齢者居住施設」のニーズは益々高くなり、需要も増えるものと推察される。そこで現在、主に元気な高齢者を対象とした居住

図 高齢者居住施設の介護度と所得との関係イメージ

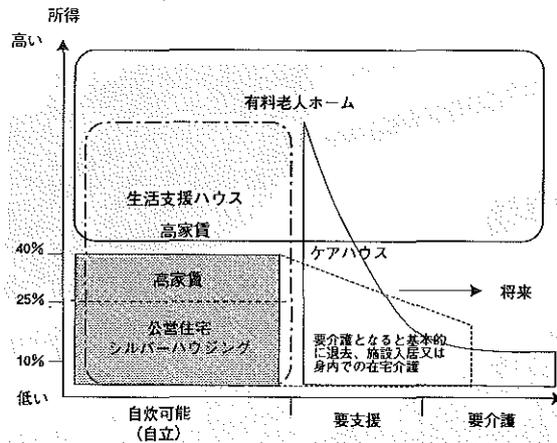


表 高齢者居住施設の概要

施設名	施設概要	家賃等
ケアハウス	無料又は低額な料金で老人を入居させ、食事の提供その他日常生活上、必要な便宜を供与する施設	家賃は施設によって異なり自己負担、事務費は収入に応じて負担
新型ケアハウス	介護度1以上の入居者を対象とし、介護機能を有するケアハウスであり、株式会社、NPOでも事業者となれる施設	事務費、生活費等は従来のケアハウスと同等であるが介護費用が1割負担となる。
有料老人ホーム	定員10名以上の老人を入居させ、食事の提供、その他日常生活上必要な便宜を供与する施設	家賃は施設によって異なり、自己負担
痴呆グループホーム	痴呆の状態にある要介護者について共同生活を営むべき住居において、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行う	同上
生活支援ハウス	介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供する施設(平成10年度補正で、過疎地域等の地域要件を撤廃)	家賃相当は収入の応じて負担
グループリビング	基本的に元気な高齢者が身体機能の低下を補うため、互いに生活を共同化、合理化して住まう一定の居住形態(生活支援制度の中の補助から備品等の補助がある)	家賃相当は住居によって異なり、自己負担
高齢者向け優良賃貸住宅	バリアフリー化、緊急時対応サービス等高齢者に対応し、低廉な家賃で入居できる住宅	個人負担額は、基準額家賃+市場家賃と基準額家賃との差1/2
シルバーハウジング	公営住宅制度の枠内で、バリアフリー化、緊急通報システムのハードと生活援助員等のサービスを受けられるもの	入居制限あり(収入分位25%以下地方公団体の数量で40%以下まで緩和)公営住宅の基準家賃
コクティブハウジング	個人の住宅部分とは別にダイニングキッチン、リビングなどの居住者同士が交流し、支え合う協同の空間を備えた住宅の形態。現在では主に公営住宅の中での供給が行われている	公営住宅であれば同じ
グループホーム等賃貸住宅	都市基盤整備公団の賃貸住宅及び公団が整備した住宅の躯体等(スケルトン賃貸住宅)の賃借人に、痴呆グループホームや元気な高齢者のグループリビング等の住宅を供する場合に支援する制度	市場家賃

施設については国土交通省、厚生労働省サイドで様々な施設が創設されている。

これだけの高齢者の居住施設があるにもかかわらず、一般の本屋で、これらの施設を一同にまとめて、わかりやすく解説している本はまったく見あたらなかった。有料老人ホームの選び方マニュアル本、施設一覧表など限定したものは用意されているが、国の制度にからんだ施設になると、興味をもって調べるか、専門的に携わっている人以外は、全く実情がわからないのでは

生存率と要介護率

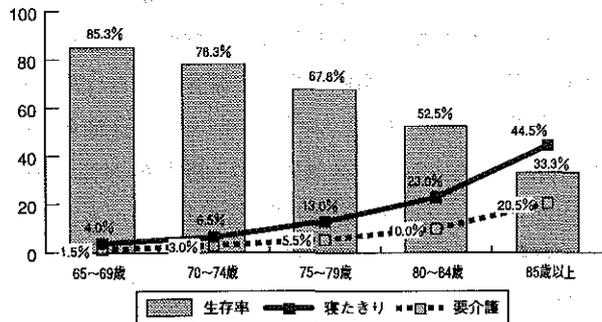


表 高齢者の居場所

単位：世帯

	総数	構成比
住宅に住む高齢者世帯	11,015,532	92.95%
高齢者居住施設	77,580	0.65%
シルバーハウジング	13,700	0.12%
軽費老人ホーム	14,840	0.13%
ケアハウス	42,540	0.36%
高齢者向け優良賃貸住宅	3,800	0.03%
シニア住宅	2,700	0.02%
高齢者生活福祉センター	-	-
施設	778,963	6.57%
特別養護老人ホーム	287,942	2.43%
養護老人ホーム	63,621	0.54%
有料老人ホーム	21,000	0.18%
老人保健施設	211,400	1.78%
グループホーム	-	-
療養型病床群等	195,000	1.65%
計	11,872,075	

- 住宅に住む高齢者世帯数：平成12年度国勢調査
- 老人保健施設：平成11年老人保健施設実態調査
- 特別養護老人ホーム、養護老人ホーム：高齢者福祉施設ハンドブック（在所者数）
- ケアハウス、軽費老人ホーム：高齢者福祉施設ハンドブック（在所者数）
- 高齢者向け優良賃貸住宅：国土交通省住宅局ヒアリング（管理開始戸数）
- シルバーハウジング：地域・高齢者公営住宅必携13年度版（戸数）
- 療養型病床群施設：図説高齢者白書2000（ベット数）

表 高齢者居住施設と事業主体

関係省庁	厚生労働省					
	ケアハウス	新型ケアハウス	有料老人ホーム	痴呆グループホーム	生活支援ハウス	グループリビング
社会福祉法人	○	○	○	○	○	○
医療法人	○	○	○	○	○	○
地方公共団体	○	○	○	○	○	○
N P O			○	○		○
民間企業		○	○	○		○
都市基盤整備公団						
備考						

関係省庁	国土交通省			
	高齢者向け賃貸優良住宅	シルバーハウジング	コレクティブハウジング	グループホーム等賃貸住宅
社会福祉法人	○			
医療法人				
地方公共団体	○	○	○	
N P O				
民間企業	○			
都市基盤整備公団				○
備考	生活援助員の派遣補助は厚生労働省			

ないだろうか。私も今回、いくら勉強し、整理させていただいたおかげで概観はつかめたものの、各施設毎の詳細については、それぞれの専門の人に聞かないとわからない。高齢者という消費者の立場にたった場合には、全く不親切というほかないのが実態であるようだ。

●高齢者の居場所を示すまとまったデータがない

高齢社会といわれ、これだけ多様な居住施設が紹介されているにもかかわらず、居住の面からみて高齢者がどこに居るのかを示すまとまったデータがない。居場所の数値としては、国勢調査ベースでみると3ヶ月以上同じ場所にいることになっており、「住宅以外に居住している一般世帯」という大枠の数値しかなく、この詳細は記述されていない。

高齢者の居場所を示す数字は、今のところ左表に示すように各種資料を積み上げるしか方法がない。

ちなみに住宅以外とは次のように定義されている。「寄宿舎、寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させるための建物や、病院・学校・旅館・会社・工場・事務所などの居住用でない建物」となっており、福祉系の施設は「住宅以外の施設」で分類され、国土交通省所管の施設は公的住宅関連の施設であるため、「住宅」に分類される。これで見ると高齢者居住施設に住んでいると思われる高齢者は1%に満たない状況であり、全国の高齢者からみると、ほんのひとにぎりの人しか居住していないことになる。

都市基盤整備公団でも、「グループホーム等供給支援制度」を創設し、通常の賃貸住宅にグループホームや元気な高齢者を住まわせるような住宅を部分的に供給する場合に支援を行っており、この施設では民間事業

者以外にNPO法人などの事業参加も促している。これまでは、高齢者居住施設の概要と数値的な把握を行ってきた。次に高齢者居住施設の中でシルバーハウジングや高齢者向け優良賃貸住宅などについて、私なりに感じている問題点や解決策などについて以下述べてみたい。

●シルバーハウジングは「宝くじ」に当たるようなものだという話

国土交通省の代表的な高齢者居住施設に「シルバーハウジング」というものがある。これは高齢者の居住の安定を図るという目的のため、昭和62年に創設された制度である。また、この制度では高齢者の安否確認や生活相談などの役割を担う生活援助員（LSA＝ライフサポートアドバイザー）が、常駐あるいは派遣されることとなっており、この費用が厚生労働省の補助から支給されることとなっている。

このシルバー住宅は、昭和62年から平成13年3月末現在までの14年間で全国に479団地、13,702戸供給されている。しかしながら、先進地事例ということで、今から5年程前東京都のある区役所に視察に行ったとき、担当者の方が「東京都のように対象者が多い中で、このシルバーハウジングに入れる人は宝くじに当たるようなものである。これに入れるか、そうでないかでサービスに大きな差があるのです。」と言われたことは、

今でも鮮明に覚えている。この言葉に示されるように、これだけ高齢者が増えた中で、一部の人を対象としたシルバーハウジングはモデル的な位置づけから、団地内の高齢者全てが同じサービスを受けられるようにすることが求められている時代になっているように思う。このことは制度創設時からの課題であったようだが、現実の高齢化の方が進んでおり、目標とする制度に追いついていないのが実情のようだ。ちなみに公営住宅に居住する世帯主年齢の割合をみると、公営住宅居住者の総数では約23%が高齢者が世帯主であるが、単身世帯では約5割弱、夫婦世帯では約4割が高齢者となっている。昭和30年代～昭和40年代初頭に建てられた古い公営住宅では、高齢者世帯の割合はさらに高いものと推察される。現在、お手伝いしている自治体での建て替え対象団地では60歳以上の入居者が7割、75歳以上が3割といった超高齢化団地なのである。もう、一部の高齢者へのサービスの時代ではないことは明らかである。

このような状況においてシルバーハウジングをモデル的な位置づけから高齢者全ての世帯が同じようなサービスを受けられるようにしていくため、次のような提案をしたい。

- 少人数向けの住宅には全て緊急通報システムが設置できるように通信の配管のみは整備しておく。将来、シルバー住宅以外の世帯でも必要に応じて設備ができるようにしておく。その工事にともなう費用は受益者負担とする。
- LSAの人数は、「高齢者等概ね30人に1人」とするのが基準となっている。確かにLSA 1人に対して30人のお世話をするのは大変と思う。しかし、何人かのLSAの方に聞くと、高齢者の方が新しい設備に不

図 シルバーハウジングプロジェクトの概念図

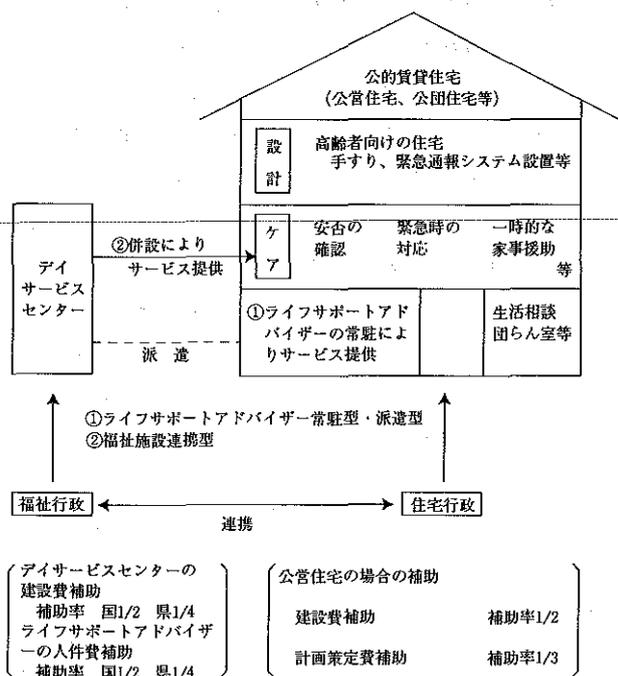
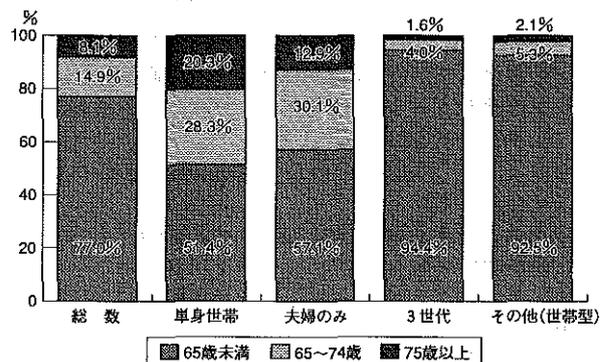


図 公営住宅における65歳以上の世帯主の状況



慣れでいろいろと操作ができない、あるいは緊急ボタンの誤報など、最初のころは混乱するらしい。しかし、3ヶ月もするころには、使い方にも慣れ、少し落ち着くらしい。

そこで、このような初期段階やサービスを提供する人数が増えるに従って、LSAの人員も柔軟に調整できるように、介護支援センターや他の福祉施設の介護パートの方の協力なども想定しておいてはどうか。

- ある有料老人ホームに視察に行った時の話であるが、この施設では高齢者の自立を促すため、高齢者が変に甘えないようにふとんの上げ下ろしなど細かいサービスまでもが受益者負担となっていた。このように受益者負担とすると、高齢者の方は病気になったときなど、本当に必要なとき以外は頼まないようになるし、かえって緊張感を促し健康にも良いとのことであった。この有料老人ホームまでもいなくても、ある程度受益者負担としてLSAの方の負担を軽減することも考えられる。これは、入居当初段階に主旨とサービス料金表を説明すれば、納得していただけたと思う。
- 団地で居住することは、ある程度機械設備に頼らないとはいけないと思うが、お互いに見守るといった観点でみると、本当に重要なのは居住している人同士の付き合いの度合いではないだろうか。日常的な

表 ある有料老人ホームのサービスと料金表の一部

介助・代行	摘 要	一回毎の金額
食事の配膳	1人分	150円
食事の介護	1人分	1,000円
洗 濯	1回分の料金	1回の容量2.5kg 500円 2.5kg以上の場合 2回分の料金
掃 除	居室内の清掃、 流し台、WC、 浴室、洗面台の 掃除	30分、1,000円
買 物 銀 行 役 所	60分以内	1,000円、 30分増す毎に500円
散 歩	30分以内	500円
寝 具 上 げ 下 ろ し		200円
布 団 干 し	1組	400円
代 読	新聞、雑誌、 手紙	30分以内 500円

付き合いの度合いが強いと「あのおばあちゃんが最近出てこないが、どうしたのか」などをお互いに気遣うこととなり、これ自体が安否確認となるのである。まともりの良い住宅団地では日常的な付き合いを増やすために団地内でのイベント活動が行われている。

そこで、LSA、自治会、役所の方などが一緒になって季節毎のイベント（正月祝い、ひな祭り、七夕、盆踊り大会、運動会、餅つきなど）を行うことが、団地内の見守り度合いを高めることとなる。

### ●新型ケアハウスは高齢者向け優良賃貸住宅（高優賃）と競合するのではないか

平成13年度の補正予算で新型ケアハウスというものを創設された。

従来型のケアハウスの事業者が、社会福祉法人、医療法人、地方公共団体に限定されていたのが、このケアハウスでは株式会社やNPOも事業参加できることになっており、事業主体の間口が広がっているのが特徴である。また、介護保険法の「特定施設入居者生活介護」の指定を受け、特別養護老人ホーム同様に介護サービスを受けることができ、対象者が要介護1以上で、それより重い介護者でも入居可となっている。従来のケアハウスがある程度自立を原則としていたのとは異なり、将来の介護の不安のリスクも少ない。

一方、高優賃は元気高齢者を対象としており、バリアフリーや緊急通報システムなどのハード面の設備と必要に応じてLSA派遣がある。しかし、要介護となると施設内での介護施設はなく、在宅介護を受けるか、他の福祉施設への転居となってしまふ。

このように将来の介護などの不安を考えると、この新型ケアハウスは、高優賃より安心できる施設のようであり、高優賃供給の意義がよくわからなくなってくる。新型ケアハウスについては、再度詳細を把握し、動向を見守ってきたいと思っている。

以上、雑然と高齢者居住施設について述べてきたが、次回以降は、高優賃や新型ケアハウスなどの実際の施設取材を重ね、その特徴や問題などを深めていきたいと思う。

(やまだ たつお)

遊びにおいで！うちの集落へ

～佐賀県七山村の十坊山ファンクラブ活動～

尾崎 正利

この半年、月に1～2度、佐賀県七山村に足を運んでいる。正確には七山村というよりも同村内の大白木集落に行っている。昨年からの集落が行っている交流活動事業「十坊山ファンクラブ」に参加させていた

だ。交流活動は平成10年にスタートした村の単独事業「活力あるむらづくり事業」による活動の延長で生まれた。この事業では村内の16集落が、地域の資源発掘、区民の憩いの場づくり、地区内の清掃方針の検討会議、ゴミ収集所づくり、伝統芸能復活など、それぞれの事情に即した計画が作られている（村内の各集落で順々に取り組まれており、平成14年度まで事業予定）。

大白木集落では、平成10年度に同事業で「大白木地域夢プラン」を集落で作成したのち、プランに沿って水仙栽培やミヤマクワガタの森、消防教室、ゴミステーションの設置などを進めてきている。いずれも集落のみならず（材料・労働・時間・資金）を持ち寄って一つずつ作ってきたものだ。その中に「都市との交流事業」というのがあり、平成12年度から「十坊山ファンクラブ」として発足した。ちなみに十坊山とは集落の背後にある標高535mの山のことで、この頂上からは美しい唐津湾が一望できる。

●芋掘りから山登り、水仙まつり、イノシシの会など地元密着テーマが目白押し

私はこれまで、自然薯掘り（昨年11月）、地日本酒研修会（今年2月）、水仙まつり（今年3月）と参加し

たが、年間スケジュールが決まっています、大体1～2ヶ月に1回の頻度で何か催しが行われる。こういうスケジュールで既に過去約2年間は実施してきている。農繁期の時期などは大変だと思うが、できるだけ一年を通して地元の集落と自然を楽しんでもらおうという気分が良く出ていると思う。

平成14年度のスケジュール

- 4月上旬「十坊山登山および山菜狩り」
- 5月上旬「たけのこ掘り交流会」
- 6月上旬「ほたる鑑賞会」
- 7月中旬「浮岳登山」  
※) 浮岳は筑紫富士といわれる村で最も有名な山
- 8月上旬「椋原湿原サギ草見学」
- 9月下旬「新米を食する会および彼岸花鑑賞会」
- 10月上旬「村の産業祭り参加ツアー及びみかん狩り」
- 11月上旬「やまいも掘り及び焼き芋」
- 11月下旬「つがにご飯を味わう会」
- 12月下旬「ミニ門松作りおよび焼き芋」
- 1月1日「初日の出を見る会」
- 3月下旬「水仙祭り」

会員は大体10家族、20名弱くらい。福岡都市圏から7割だが、中には福岡県南部の大川市や佐賀県の有明海近くにお住まいの方もいる。このくらいの規模だと、地元の方にとって顔と名前が覚えられ。不特定多数ではなく、特定の人に何度も来ていただき双方が馴染んでいくという感じでじわじわと交流を拡げている。

毎回催しがあるときは日曜日の朝10時に大白木公民館に集まる。参加費は内容によって異なるが、一家族で概ね2～3千円といったところ。この大白木公民館



白あえ 煮しめ だぶ（野菜を切ったき合わせたもの）などの差し入れ



農作業からの帰りにのししの会に集まった白木のみなさん

の建物は交流活動の拠点となっており、ある時は十坊山ファンクラブの集まりが2階であっている時に、集落の高齢者の集まりごとが1階で行われていたりする。

大きな台所やかまどがあるため、1階で集まりがある時には集落の婦人たちが材料を持ち寄って何か煮炊きをしていることが多く、その料理の一部（白和えや煮しめ、豚汁、つけものなど）が時々差し入れとして2階に贈って来られたりするが、それがとても美味しい。こうした不定期な楽しみに出くわすことも、この会の魅力だと思う。

### ●地元の人が無理なく・楽しめるように

このファンクラブの事務局は鬼木和俊さん。村役場につとめるかわら「大白木活力ある村づくり推進委員会」（中村孝光会長）を中心に、村外からの来訪者と集落のみなどとのパイプ役を務めている。

「地元の集落のみならぬことができることをやろう」「地元の人も一緒に楽しめるような交流をやろう」「準備にくだびれる程の過大なもてなしは双方の心の負担になる」といつも言っており、催しがあるときには参加者に申し込みを出してもらっているようにしている。

毎回、封筒に折りたたんだ案内文が入れられて送られてくるが、事務所でそれを見て文面を讀んでみるとなぜかほんわかした気分で、微笑ましい気持ちになる。ここではそのいくつかを紹介してみたい。

・ 柚子の収穫が大変で困っています。無料開放しますのでうちの山のは勝手に採って行って下さい。なお無料では心苦しいという方は「大白木公民館」のポストにお好きな代金を入れておいて下さい（平成13年度12月の案内）。

・ のんびりしたい方は「大白木公民館」を無料で開放しますので自然散策にでも来て下さい。区民の人が通りますので「十坊山の会員です」と声をかけて交流を深めて下さい（平成14年度4月の案内）。

・ たぶんのんびりと田植えの準備をしていると思います。手伝い（邪魔）をされたい方は連絡下さい。一日百姓気分です遊ばせましょう。弁当持参です（平成14年度4月の案内）。

・ 大白木の新米で「つがにご飯」を参加者で作りたいて考えています。私はいつも食べています。たいへん贅沢しています（平成14年度年間行事の紹介）。

自然とともにあるのんびりしたこの集落の雰囲気が伝わるような案内には、いつも心惹かれてしまう。

### ●集落が儲けているものは情報

こうした事務的な活動経費は集落みんなの負担ということになっており、平成14年度は一軒あたり6千円ずつ、合計39軒で23.4万円を集めて「大白木夢プラン」の見直し計画を作成するという。

こうしたファンクラブ活動の地元に対する効果として、鬼木さんの話では、都会の人が日頃（大白木の人が）見慣れた風景や自然、野の草花などに関心を抱くのを見て、どんなことを求められているのか考えるきっかけになる、しかもそれに対して参加費を払ってやって来る人がいることをみて、自分たちの集落の資源もいいものだと思うようになった、お年寄りの知恵や技術など経験を積んだ人が大事にされるようになって世代間の会話が増えた、失敗しても満足だという体験メニューがとても人気で、今後は子供達の教育にも生かせると感じるようになった、などが挙げられる。つまり、集落が一番儲けているものはそうした諸々の情報である。

また、経済的な面からみてもモチトウキビの会員、米づくりの会員、みかんやキウイの販売も行われており、定例的な会合以外の場で個人的に注文する会員の方もいるようだ。

### ●「水仙祭り」はイノシシ丸焼きを囲んで総勢70数名の大宴会

さる3月24日には「水仙祭り」が開催された。参加者は以前から増やしてきた水仙の花畑の除草作業などを手伝って、その後はイノシシ丸焼きの宴会になった。この日の宴会は集落の皆さんとの交流ということで、老若男女問わず人が集まって総勢70数名にもなった。

私は当事務所の女性2人を連れて行ったが、これまでファンクラブでもお会いしたことがなかった集落の現役お年寄りグループ（男性6人、女性5人）のテーブルに入れてもらった。座ると若い女の子2人が一緒というのが皆さんことのほか嬉しいようで、焼けたイノシシの肉や野菜の煮つけ、お酒をどんどんすすめられた。話によると、農作業を終えて、道具を小脇にかかえて帰り途に立ち寄った人も多く、ちょうどお腹が減っていたからといって、皆さんお年寄りとは思えないほど元気な食べっぷりだった。「これからもずっと遊びにおいでね」と何人ものお年寄りに誘われた。やっぱり今回も来て良かったと思った。

（おざき まさとし）

たくさんの「暖かさ」に包まれた保育園

～滋賀県大津市 松の実保育園～

梶原 里香

3月31日、滋賀県大津市の琵琶湖が見下ろせる場所に完成した「松の実保育園」の竣工式に出席しました。

「たくさんの保育園の設計をしてこられた松井俊さんが自ら理事長を務める保育園」と糸乗から聞いていたこともあり、どんな保育園をつくられたのだろうか、とても楽しみにしていました。

松井さんは当社のネットワーク会社である(株)地域計画建築研究所(アルパック)に勤務された後、現在は独立され保育園や福祉施設の設計を中心にお仕事をされています。また、奥さんの松井周さんは保育士で、松の実保育園の園長をされています。

●無認可保育園として誕生。立ち退き問題が認可保育園として歩み出すきっかけとなる

松の実保育園は1984年6月、産休明けから誰もが安心して預けられる保育園を目指して、無認可保育園として誕生しました。

保育園は大津市の湖西地域(比叡山を挟んで京都と滋賀に別れている地域)にあります。電車で京都まで10分、大阪まで40分という近さのためベットタウンとなっており、大津市の中でも保育要求が高い地域となっていました。子どもを預けたいという保護者が多く訪ねて来られるものの、保育料の高さに預けることを

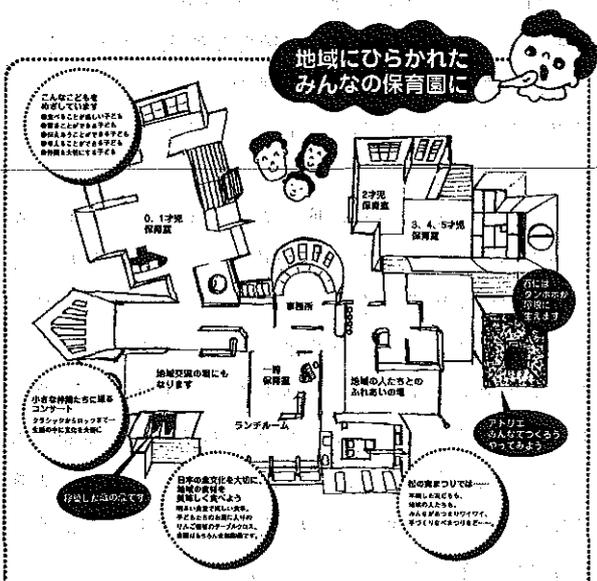
断念して帰られる方が多かったため(大津市では無認可保育園に対しての補助がなく、保護者に対して0～2歳まで2,000円/月の補助があるのみ)、無認可では保育園を必要としている人の要求に応えられないということを痛切に感じていたそうです。

「子どもを預けたいという人の希望に応えたい」という思いにかられていた1998年8月、保育園の立ち退き問題(当時は民家を借りて保育園を運営していた)が起こったことが、「認可保育園をつくろう」という大きなきっかけとなりました。

この問題が起こったとき「松の実が大変だ」と、在園児・卒園児の保護者、他園の保育士さん、地域の人たちなどたくさんの人が集まってくださったそうです。そして松の実保育園の認可を進めていくだけでなく、将来的にも保育園を見守り、育てていくことを目的とした「松の実を育てる会」が発足されました。この会の活動として、新しい保育園建設のための土地探し、資金集めを行ったほか、現在も保育園の状況を知らせるニュースの発行、地域交流を図る活動などを行っておられます。

立ち退きという大きな問題が起こったとき、すぐさま多くの方が保育園を助けようとして集まったという事に驚きました。これも「地域に開かれた、共に育ちあう、仲間を大切にする」という保育方針に共感する保護者や地域の人が多く、それをこれからも残していきたいという想いが行動に現れたのではないかと感じました。

このような経過を経て2001年8月法人認可があり、「社会福祉法人唐崎福祉会」が誕生、そして2002年4月、定員45名の認可保育園としてスタートすることとなりました。



松の実保育園全体図



まるで民家のような保育園。左側上部が奈良から移築した蔵の部分である

## ●保育園は子どもだけが育つ場ではない。広く地域に開放して大人も育ちあう場として考える

外から見た感じではまるで大きな民家のような。園舎の床をはじめ、柱、靴箱などいたる所に使っている木材（床には吉野杉を使っている）。玄関を入るとタンポポが描いてある大きな絵。その横には喫茶スペース。春にはタンポポが生える屋根。ランチルームには重厚な蔵の扉。茶室まである。「これが本当に保育園？」というのが、保育園を見たときの最初の印象でした。

ランチルームは、奈良市にあった明治時代初期に建てられた蔵の扉や柱を移築してつくられたものです。古いものを大事にし、活かすことを考えてつくられている建物だと話を聞きながら感じました。

また、このランチルームや玄関横にある喫茶スペースは地域交流の場としても活用することを考えてつくられています。子どもたちに本物を見せる、聞かせる機会を持つということで、様々な演奏会などを開催することも考えておられるとのこと。実際、竣工式でも琴や太鼓、ジャズの演奏が行われていました。保育園は子どもだけではなく、大人や地域の人たちと一緒に育ちあっていける場としたい、とおっしゃっていた松井さんの思いがこの保育園にはいっばいに詰まっているというのが伝わってきました。

竣工式に続き、午後からは在園児、新園児、卒園児とその保護者、地域の人を対象としたお披露目会が開かれました。遊具に夢中になって遊んだり、園舎の中を走り回ったりする子どもたちの歓声が園内いっばいに響き渡りはじめると「保育園なんだな」という実感がわいてきました。来園されていた保護者の方からは、「こんな保育園で園生活を送れる子どもたちは幸せだね」という言葉があちこちで聞かれました。

## ●「暖かい」という言葉がびったりくる保育園

帰りの新幹線の中でふと、松の実保育園には「暖かい」という言葉が本当にびったりくるなと思いました。

たくさんの木材が使われている園舎、たくさんの窓から差し込む太陽の光、子どもたちの笑顔とそれを見守る保護者の皆さん、保育園を見守り、一緒に育てていこうと取り組んでおられる「松の実を育てる会」や地域の方々、園の保育士さんなど。こういったたくさんの「暖かさ」に包まれている保育園やそこで園生活を送る園児さんたちが本当にうらやましくなっていました。

帰り際にお話させていただいた松井周さんの、「この保育園は本当にたくさんの人の暖かさで支えられているんですよ」という言葉が今でも胸に残っています。

(かじはら りか)

### 地域データ散歩10

## 高齢単身男性が増えつつある

山田 龍雄

本稿の「高齢者はどこを終の住処とするであろうかその4」の中で高齢者の居住施設の状況を整理する上で、高齢単身世帯の推移状況をみていて気づいたものである。

## ●全国ベースでみると平成7年以降の前期高齢者の伸び数は女性と逼迫してきている

全国の平成12年のデータでみると、高齢単身女性約230万人に対して、高齢単身男性は約74万人と約1/3のボリュームである。しかしながら、この伸び数、伸び率をみると、女性が昭和60年～平成2年約36万人（38.5%）、平成2～7年約43万人（32.7%）、平成7年～12年約58万人（31.8%）であるのに対して男性は、それぞれ約7.8万人（33.4%）、約15万人（48.2%）、約28万人（61.2%）となっており、平成7年以降に男性が倍数で増えてきている。特に、平成7～12年の前期高齢者（65～74歳）と後期高齢者（75歳以上）での伸び数をみると、前期高齢者では女性が約18.6万人増に対して、男性が約16.7万人増と大差がなくなっている。差があるのは後期高齢者の方である。（男性11.4万人増に対して女性約36.2万人増）

表 全国の男女別高齢者単身の推移

全国：男性				
	S60	H2	H7	H12
65-74単身世帯	137,971	178,434	289,649	457,321
75以上単身世帯	94,643	131,901	170,510	284,326
単身世帯数	232,614	310,335	460,159	741,647
伸び数		77,721	149,824	281,488
伸び率		33.4	48.3	61.2

全国：女性				
	S60	H2	H7	H12
65-74単身世帯	629,496	805,436	995,038	1,181,756
75以上単身世帯	318,613	507,662	746,963	1,108,737
単身世帯数	948,109	1,313,098	1,742,001	2,290,493
伸び数		364,989	428,903	548,492
伸び率		38.5	32.7	31.5

表 年次別の生まれた年

	各年次での生まれた年		
	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)
65～69歳	大正10～14年生まれ (16～20歳)	昭和元～5年生まれ (11～15歳)	昭和6～10年生まれ (6～10歳)
70～74歳	大正5～9年生まれ (21～25歳)	大正10～14年生まれ (16～20歳)	昭和元～5年生まれ (11～15歳)
75～79歳	大正元～4年生まれ (26～30歳)	大正5～9年生まれ (21～25歳)	大正10～14年生まれ (16～20歳)
80歳以上	明治44年以前生まれ (31歳以上)	大正4年以前生まれ (26歳以上)	大正9年以前生まれ (21歳以上)

※ ( ) 内: 大太平洋戦争時の年齢

当初、この理由は熟年離婚のせいなのではないかと短絡的に考えていたのであるが、表紙に示しているような人口ピラミッドをみると歴然としている。

つまり、平成2年当時の65～69歳の方は、太平洋戦争時に16～20歳代で、最後に戦争にかり出された世代なのである。そして5年後の平成7年の65～69歳世代は太平洋戦争時代に戦争で死ななかった人が少なかった世代であり、この年代から65歳以上の男性のボリュームが、増えているのである。

●福岡県の男女別高齢単身者の伸び率は全国と同じ傾向である

次に、県レベルでの状況を見るため、九州内で特徴的な傾向がある福岡県、鹿児島県をみてみた。

福岡県での伸び数、伸び率は、女性が17,583人(38.2%)、20,817人(32.7%)、26,278人(31.1)であるのに対して、男性は3,396人(33.8%)、6,493人(48.4%)、12,155人(61.1%)と伸び数が女性の半分近くまでなっている。平成7～12年での前期高齢者の伸び数は全国の傾向と同様に男性6.7千人に対して女性9.5千人とかなり近づいてきている。

表 福岡県の男女別高齢者単身の推移

福岡県：男性

	S60	H2	H7	H12
65-74単身世帯	6,070	7,886	12,784	19,409
75以上単身世帯	3,949	5,529	7,124	12,654
単身世帯数	10,019	13,415	19,908	32,063
伸び数		3,396	6,493	12,155
伸び率		33.9	48.4	61.1

福岡県：女性

	S60	H2	H7	H12
65-74単身世帯	31,163	40,044	49,684	59,202
75以上単身世帯	14,789	23,491	34,668	51,428
単身世帯数		45,952	63,535	84,352
伸び数		17,583	20,817	26,278
伸び率		38.3	32.8	31.2

●鹿児島での高齢単身の伸び率は、全国と半分程度であり、女性も増加数が減少している

鹿児島県の高齢単身女性に対して高齢単身男性の比率は4.62(全国:3.78、福岡:3.43)と全国平均と比べても単身女性の割合が高い県である。しかしながら、その伸び数と伸び率をみると女性の伸び数が男性と拮抗しているどころか、女性は減少している。

高齢単身の男性が少ないのは、若い内に県外へ出て行く人が多く、高齢者になって故郷に帰ってくる男性が少なく、逆に福岡県の場合は、単身になって県内の息子の元へ呼び出されている男性高齢者も多いといった相互作用が鹿児島と福岡に出ているのではないかとと思われる。(これは平成7年NIRAの調査研究「なぜ高齢者はふるさとを離れていったのか」で鹿児島県などでは都会に出ていった息子の元へ行くケースがみられた)。10年後は団塊の世代(昭和20～24年生まれ世代、平成12年時点で50～55歳の世代)が高齢期を迎えること、男性の寿命も延びていること、中年の離婚率も増えていることなどを考えると、男性高齢者はさらに増えるものと予想される。(やまだ たつお)

表 鹿児島県の男女別高齢者の単身状況の推移

鹿児島県：男性

	S60	H2	H7	H12
65-74単身世帯	3,905	4,447	6,095	8,398
75以上単身世帯	3,868	4,764	5,634	7,321
単身世帯数	7,773	9,211	11,729	15,719
伸び数		1,438	2,518	3,990
伸び率		18.5	27.3	34.0

鹿児島県：女性

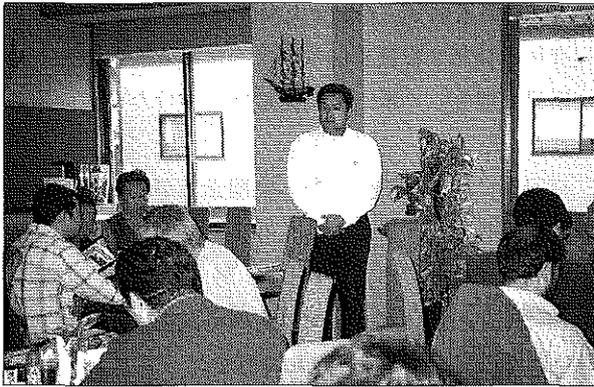
	S60	H2	H7	H12
65-74単身世帯	27,758	30,135	31,811	31,287
75以上単身世帯	17,836	24,337	32,469	41,536
単身世帯数	45,594	54,472	64,280	74,823
伸び数		8,878	9,808	8,543
伸び率		19.5	18.0	13.3

成功の秘訣は  
人と人のつながりと情報公開

～味千ラーメン物語～

小田 好一

私が以前からはまっているラーメンがある。豚骨ラーメンの上にニンニクチップをのせたものだ。ニンニクの香ばしい香りがたまらない。これはもともと博多ではなく熊本のものである。数年前から博多のあるラ



代表取締役 重光克昭 氏

ラーメンランチサイズでも出されている。

博多ラーメンではトッピングとしておろしニンニクを入れることがあるが、これとはまた違った風味である。

福岡県内に味千ラーメンがあれば私はこのラーメンにはまっていたのであろうが、これまで福岡県内にはなく、去年の末に福岡市のキャナルシティにオープンしたラーメンスタジアムに出店したのが初めてである。

さる4月6日にアジア麺文化研究会主催の研究会に参加し、熊本ラーメンのルーツの一つ「味千ラーメン」の重光克昭社長に味千ラーメンのこれまでの経緯と今後の展開をお聞きすることができた。

この時のお話を聞いて初めて知ったのだが、味千ラーメンはアジアに広く展開しているほか、ニューヨークにも出店している。

### ●味千ラーメンのルーツ

- ・創業者である劉坛祥（後に重光孝治に改名）は台湾出身で、高校生の時、単身で日本にやってきた。最初は宮崎の高校で勉強し、その後、熊本大学工学部に入学する。
- ・大学卒業後、様々な仕事をしたが、昭和20年代後半熊本県玉名市に出店していた久留米系ラーメン店「三九」を知り、ラーメンに興味を持つようになる。
- ・昭和30年、熊本市内のラーメン店「桂花」で調理を担当することになった。30年代後半、それまでであった熊本の豚骨ラーメンにニンニクを利用することによって美味しくなることを突き詰めた。これが好評で現在の味千ラーメンの流れとなっている。
- ・昭和43年、ラーメン専門店「味千本店」を開店する。この年に熊本県庁が現在の位置に移転し、それが追い風になった。県内各地からの客が来るようになり、県内に評判が広がった。
- ・客の中には作り方を教えてほしいなどの依頼があっ

た。初代社長は惜しみなく、麺、材料、スープを分け、レシピを教えた。この頃からチェーン展開を行っていた。

### ●本格的な事業展開へ

- ・昭和47年、重光産業株式会社を設立し、本格的なチェーン展開を図る。それとともに、業者から購入していた麺、チャーシュー、餃子も自社で製造するようになった。
- ・昭和50年前半から積極的な営業を展開するようになる。多いときで、チェーン320店舗、直営9店舗、海外33店舗あった。

### ●味千ラーメン、父の故郷台湾へ

- ・海外の最初の展開は父の故郷でもある台湾だった。平成6年、台北に海外第1号店をオープンした。オープン後、3ヶ月までは日本人スタッフを派遣し、指導にあたらせた。しかし、スタッフが引き揚げた途端、売上が急激に下がった。再度スタッフを派遣させると、マニュアルは全く守られておらず、味もめちゃくちゃだった。一度崩れてしまった評判はなかなか回復できなかった。

### ●中国での失敗

- ・平成7年には中国本土に上陸し、北京に出店することになる。東京の貿易業者等と、味千ラーメン、中国の企業の合併で会社を設立した。
- ・「味千」という商標をどうにかつけたかったが、北京語でAisenは「味の素」の発音に似ているということから拒否され、「面愛面」という商標で出すことになった。しかし、いくつもの企業ががらんでいると自分たちの主張ができなくなり、後に手を引くこととなった。

### ●二人の青年との出会い

- ・平成8年頃から父（初代社長）の体調が悪くなり始めた。癌であることが発覚し、余命3ヶ月と宣告され、翌年亡くなった。ここで当時、若干29歳の現社長が誕生した。
- ・平成8年香港1号店がオープンする。香港では味千ラーメンの評判が良く、現在8店舗となっている。
- ・香港店のきっかけはリッキーとアイシーとの出会いだった。当時、熊本県・市と香港との交流が盛んだった。食品経済ミッション団などが熊本の工場など見学してまわっていた。味千ラーメンの工場見学もあり、メンバーの一人（アイシー）が興味を持った。

・リッキーは日本語の勉強のため、東京で学校に通い、新宿の居酒屋等でバイトをした経験を持っており、日本語が上手かった。もともと香港でクレーブ店を8店経営していた。最初は良かったが、類似店が現れ、低迷が続き、新しいビジネスチャンスを探していた。

### ●味千ラーメン、広く海外に挑む

・平成11年9月には上海にオープンすることになる。先月7号店がオープンした。デイシーががんばってくれている。

・現在、上海に製麺工場を建設中である。ありがたいことに出資は地元企業が行うことになり、重光産業としてはノウハウの提供だけですんだ。

・このほか、シンセン4店舗、広州2店舗、シンガポール3店舗、フィリピン1店舗、ニューヨーク1店舗となっている。今年度、タイのバンコクにも開店する予定である。

・しかし、これだけ海外に展開しても、評判が落ちないのは、海外においても日本と全く同じレシピに基づいて指導しているからだという。また、スープは日本から送っているそうだ。(スープのノウハウを盗まれて類似店が現れるのを防止するためでもある)

### ●味千ラーメンが大切にしていること

・ニューヨーク出店のきっかけは香港店の経営者の親戚がニューヨークに在住していたことである。将来的には米国内で何店か展開したいということだった。

・これまで、リッキーとその仲間との出会い、ニューヨーク出店、今年度のバンコク出店など多くの海外展開を図ってきており、この大きな要因となっているのは「人と人のつながり」と出店希望者の熱意からである。

### ●味千が多くの人に受け入れられたわけ

・これまでいろんな国で受け入れられてきたのは、その理由は父が台湾出身であることが大きな理由ではないかということだった。

・とんこつは博多や久留米が発祥だが、それにニンニク等の調味油である台湾の味をミックスしたことが広く受け入れられている秘訣ではないかということだった。

### ●今後の展開

・海外店は味千ラーメンの固定観念がないからか、新しい商品をいろいろ考えている。逆輸入のカレーラーメンもその一つで豚骨ラーメンにカレーパウダー

を入れたもので、香港で大人気だそうだ。

・今後は発想を転換を図るとともに海外店との相互の情報公開をして新商品開発に結びつけたいということだった。

福岡市には韓国や台湾からの観光客が多く訪れるが意外に豚骨ラーメンはあまり好まれていないということを知ったことがある。(うどんが人気らしい。)豚骨の独特なニオイがどうも受け入れられていないのかと思う。その点、味千ラーメンは豚骨ベースではあるが、ニンニクのチップと調味油の風味によって、豚骨臭さは消されている。重光社長も言っておられたが、これによって広く海外に受け入れられる味になったようだ。

味千ラーメンのこれまでの経緯を聞くと、成功の秘訣は3つに集約できるみたいだ。1つめは人と人とのつながり。2つめは地元スタッフの熱意。台湾、北京での展開は地元スタッフの熱意がなかったようだ。3つめは情報公開。これまで国内、海外のチェーン展開を図れたのはレシピの情報公開であり、新商品開発についても各国、各店が情報公開してお互い刺激をあたえているということだった。今後、カレーラーメンのように国内外のチェーンの知恵が集結した新商品ができるのを楽しみにしている。(おだ こういち)

### 佐賀城下ひなまつりに思う

本田 正明

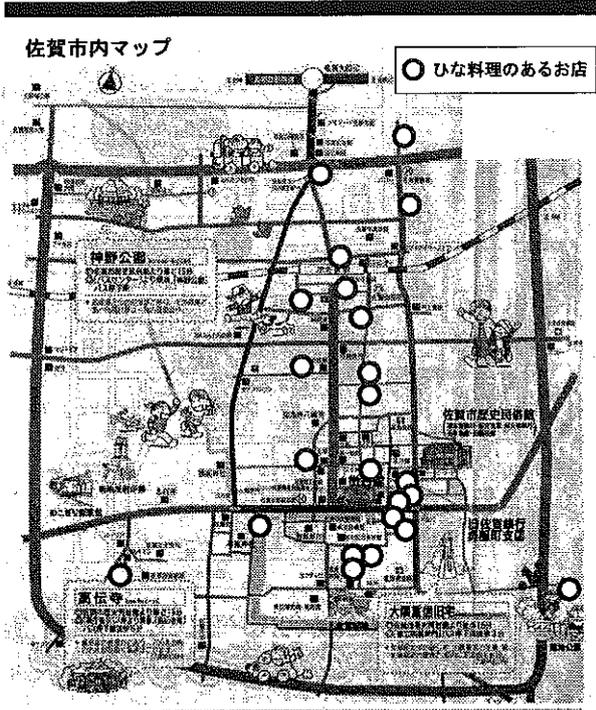
2月中旬から3月中旬にかけて、佐賀市で行われた「佐賀城下ひなまつり」を訪れた。今年は2回目の開催で、去年を上回る7万人の来訪者があり、また数多くのお店でひな料理を楽しめるようになっていた。

食いしん坊である私は、いろいろ食べ歩きを行ったのだが、その中で来訪者から聞いたことや自分が感じたことを断片的だが紹介したい。

### ●「ひな料理」という規格製品

ひなまつりで食べる物といえば、白酒や赤、青、白の菱餅、雛あられなどを想像する。私が、ひな料理を食べたどのお店でも白酒が出てきた。刺身が出てくる所も多く、どこでも見かけるブリやマグロが出てきた。他にも、天ぷらや茶碗蒸しが出される店も多かった。味は、どのお店もなかなかおいしいのだが、さすがになんども似たものを食べると飽きてしまった。

初めのうち、ひなまつりは季節のイベントなので、



市内全域に広がった「ひな料理」のお店

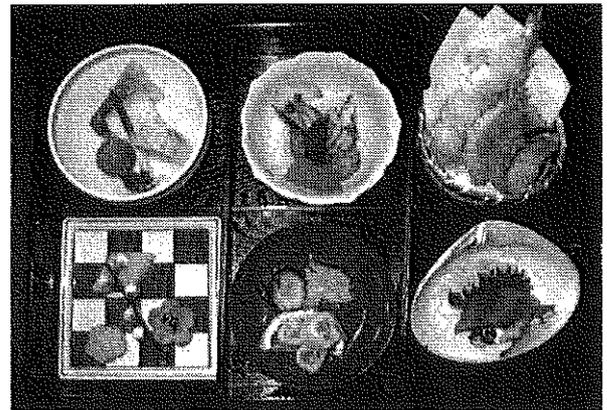
リピーターのことを気にせずに、同じ物ばかり売っても不平をいう人は少ないのだろうと思っていた。しかし、福岡市内から来ていた老夫婦から、「日田や柳川などのひなまつりにも行ってきたが、お雛自体は地域で違いがあってももしろいのに、ひな料理はどこでも同じようなものが出てくるのでつまらない」という話を聞き、短期間のイベントでも地域性を感じるものを求める人はいるのだと思い直した。

お店によっては、食後のデザートなどに工夫を凝らしているところもあったが、料理内容がどこでも御膳と白酒と茶碗蒸しという同じパターンで出てくるので、見た目のたのしみも薄れているようだった。

●若い人がひまをつぶす場所が少ない

若い人が貧乏なので、あまりお金を使わないのか、それともちょっと休憩したくなるようなセンスのよいお店が少ないためか、カップルなどは、「ひな料理ではなく普通のもので、おいしいものを食べたい」といっていたり、駐車スペースのあるチェーン店で食事をして、ひなまつりは見学だけを楽しんでいる人を何組か見かけた。

食事はひな料理のお店選びに苦労するより、当たりはずれの少ないチェーン店で手軽に済ますといった感じで、ひなまつりに食を求めてきている若い人たちは少ないようだった。実際にひな料理を食べている人を見ても、年配の女性グループや老夫婦などが多く、若



①	②	③
④	⑤	⑥

- ① きんかんの甘露、うなぎの卵巻き
- ② エビ、竹ノコ、イモの煮つけ
- ③ エビ、野菜の天ぷら
- ④ ひしモチ、ウメモチ
- ⑤ しゃげの大根巻、きゅうりの酢もの
- ⑥ おさしみ

い人のグループなどはほとんどみかけなかった。

ただ、初孫の節句ということで、50～60歳代のおじいちゃんおばあちゃんと、若夫婦とお孫さんという3世代で訪れているグループは、会場内の喫茶店でくつろいでいるところをしばしば見かけた。どうも若い人達だけで、ひまをつぶせるような場所が少なく、滞在時間が短くなっているようである。

●地元の人が自分のおひなを自慢するおもてなし

ひなまつりは、もともと女の子が主人公になって、友達を呼んで自慢をしながらおもてなしをするものだと聞いたことがある。また、現在は40歳ぐらいの年代を境に、ひなまつりをお祭りとして楽しいと感じていた世代が途絶えているという話も聞いた。佐賀のひなまつりを訪れている方の中にも、「なつかしいねえ」と言っている年配の方を多く見かけた。しかし、私のような20代の世代には、ひなまつりは見た目の美しさや初めて見る喜びといった表面的な感動しか味わっていないようにも思った。

ウィンドウショッピングのようにおひなを眺めて回るイベントに、今後もお客さんが集まるか疑問を感じていたところに、あるグループに会った。彼女らは親戚の4人組で来ていたのだが、佐賀市内に住まれている方が、去年の佐賀城下ひなまつりに感動して、県内に住む親戚を招待して会場を案内しているのだった。会場を見回った後は、「3人を自宅に連れていって、自宅のお雛様を自慢しながら食事をするの。」と言っていた。「佐賀にはいいものがあるのだから、もっと自慢してあげないと。」ともいっていた。地元の人が自分の出

来る範囲でひなまつりにかかわり、自慢することで、PRとおひなの文化を広げているのである。

今年のひなまつりのアンケートを見ると、地元（市内）から訪れている人が6割を越えている。ひなまつりは、今も身近なイベントなのである。今後、ひなまつりが続いていくためにも、身近に住む若い人たちがおひな自慢に参加できる環境があるのではないかと感じた。（ほんだ まさあき）

## 近 況

### 自然に産むということ

アクティブバースという言葉をご存じだろうか。妊婦が主体的に出産をする、という意味である。先日、我が家に2人目が産まれた。今では少数派となっている助産院である。助産院というと、古いイメージで産婆さんが出てくる、といった様子を思い浮かべる人もいるかも知れないが、そこは若い助産婦さんが中心で、アットホームなところである。

アクティブバースとは全く同じ意味ではないが、「自然分娩」という言い方がある。「自然分娩」というのは、麻酔や会陰切開などの医療行為をせず、自分の力で産むことである。これに対し、現在ほとんどの人が行っている分娩台に乗って産む方法を「普通分娩」としているようだ。仰向けになって産むというのは、医師の診察及び介助のしやすさから来ているのであって、母体は背中や骨盤を圧迫され、赤ちゃんにとっても水平方向で出て来にくい不自然な体位だ。その助産院にはそもそも分娩台がない。日本でも長い間お産はしゃがんで産む座位が主流で、重力に逆らわずに産んでいた。その方が無理がない。名前に表れているとおり、今「普通だ」と言っていることは「自然ではない」ことなのである。

乳児死亡などの危険性から、病院での出産が主流になってきているのだが、栄養状態も衛生条件も良くなった中、助産院だからといってそのリスクが高くなるわけではない。かえって、病院の積極的な医療行為が事故やストレスを招いている場合があり、そのリスクの方が問題だし、後味が悪い。栄養を取りすぎて、きれいすぎて、子どもの免疫力が落ちている面もある。

助産院では、バースプランといって、自分がどういう風に産みたいかのプランを立てる。そのことがまさ

にアクティブ、主体的な部分だ。どんな格好で産むか、リラックスできる音楽を流すか、香りを立てるか、へその緒を誰が切るかなど。我が家は、妻が水の中が好きなので水中出産を希望した。一人目の時も水中出産で、やや大きめの浴槽の様な中で産んだ。今回のバースプランの中に、実は「胎盤を食べる」という内容を入れた。最初、助産院から胎盤を食べると体（特に母体）にいいと聞いてきたときには、すごいことを言ってるなあと思ったのだが、だんだん興味がわいてきて、こんな体験普通ではできないので食べてみよう、ということになった。

胎盤にはいっぱい栄養が詰まっている。胎児はそこから全ての栄養を得ていたのだし。動物は貴重な栄養源でもあり、たいいてい母親が食べるらしい。人間でも子宮の戻りがいいそうだ。まあ、男の私が食べても特別な意味はないと思うが。しかし、そのままだと、胎盤は産業廃棄物として処分されてしまう。勿体ないというのは変だが、何か悲しいではないか。

予定日（この言い方は好きではない。およその目安という程度）の5日前の早朝、陣痛らしき痛みから2時間、車で助産院に着いてから10分後というスピードで長女が誕生した。これも1日1時間の散歩で骨盤を柔軟にしていた成果だろう。だが、あまりの早さに水中出産用の浴槽にはお湯が半分しか貯まっておらず、水中出産は今回は未遂に終わった。結局マットの上に四つん這いという格好で、するりと産んだ。

数分後、胎盤が出てきて、私と4歳の長男でへその緒を切らせてもらった。直径15cm厚さ2cm位のその胎盤、助産婦さんが流して洗って一部をまるで刺身をさばくように切ってくれた。これをしょうが醤油につけて口へ……。柔らかいが少しサクサクしてる。臭みは全くない。しょうが醤油につけたせいかもしれないが、馬刺のような感じでもある。玄米菜食らしきことに挑戦していたのできれいだったのかも知れない。残りの胎盤は冷凍してとっておけば、後日調理できるそうだ。

アクティブバースは「おまかせ」ではないため、本人も周りも勉強することが必要だし、その助産院では食事や生活の指導などかなり厳しく鍛えられもするのだが、前向きな姿勢が影響するのか、産んだ後の子どもに対する親の愛情が違うそうだ。それに、不自然で有無を言わせぬ医療行為もなく、出産に対する印象は

とてもいい。現在、産むことに対して主体的な部分が少ないということが少子化の一つの原因になっているのではないかとも思う。

このような話は、ついていけない人もいるし合わない人もいるので全ての人に薦めるつもりはないが、現在の出産のあり方に疑問を持つ人は、選択肢として知っておいて損はないだろう。(伊藤 聡)

**函鎮海湾の桜見物は人見物であったが、韓国の明太子は、素朴で安くてうまいのを発見**

SASという異業種交流会(人によっては異能種交流会ともいう。)の定例会で「鎮海湾の桜を見に行こう」というツアー企画があった。鎮海湾の桜は、旧日本海軍が朝鮮統治時代に30万本以上の桜を植え、桜並木が10数kmに渡って続いている。これを聞いた途端に是非参加したいと申し込んだ。しかし、今年は桜の開花が例年より1~2週間早く、旅行日の4月5日は既に葉桜になっているものと諦めてビートルに乗り込んだ。

鎮海湾の桜は、半分程度は残っていたが、当日は植樹祭という韓国の祝日とも重なり、大渋滞に巻き込まれ、花見で一杯どころか、2時過ぎにはお腹も空腹で限界となり、バス車窓からの花見弁当となってしまった。桜見物では桜に感心するというよりも、桜の期間中に渋滞するとわかっているにもかかわらず、100万人以上の人がこの地を訪れるいうことであった。

小生は17~18年ぶりの釜山であったが、やはり、その近さを改めて知らされた。また、夕方6時頃にたまたまロッテデパートに行くと、日本ではバーゲンセールか、何かのイベントでしかみないような人ばかりであった。これは韓国が少し景気が上向きになってきていることと、日本以上に消費意欲がまだ旺盛であることにあるようだと思われる。

今回の旅行の土産は、成り行き、行き当たりばったりで買った物ばかり。そして、全て食べ物だけの食糧買い出し旅行となってしまった。中身はケジャン(カニのキムチ漬け、ニンニク醤油漬け)、韓国海苔、韓国餅、明太子、キムチ、貝の干し物(1kg程度)、韓国産ゴマ油(ほとんどが中国産で韓国産は高価である)などの食料品土産の中で、小生も感激し、家族にも評判が良かったのが、何と「明太子」であった。

最近、福岡の明太子で気になっていたのが、競争が激しいせいもあるかもしれないが、各メーカーとも差別化のため、昆布ダシ、柚子の香り漬け、イカ明太な

どあまりに味を付けすぎているように感じる。この点、今回調達してきた明太子は唐辛子だけの味のように、福岡の明太子に比べてピュアな味であり、しかも500グラムで1,600円程度(今、福岡では200g、2,000円が相場)とお得な買い物であった。福岡の明太子も、そろそろ原点に戻ってはどうかと思った次第である。(山田 龍雄)



**超人バッキー  
らくらく介護への道**

坂口久美子  
NECメディアプロダクツ

鮮やかなオレンジと緑の表紙でぱっと目をひくこの本は、老人介護をするときのちょっとした工夫や視点を自らの体験をもとに楽しく、分かりやすく、パワフルに書いてある。現在介護に携わっている方、これから介護をする方に役に立つだけでなく、自分の健康や老後にも関心が湧いてくる本である。

この本を書かれた坂口さんは、福岡市で健康相談を主体にした薬局を経営される傍ら、ご近所介護クラブ「ゆいまーる」を作られた。2年前、実のお母さん(ニックネーム：バッキー)が大腿骨を骨折して寝たきりになってしまった。老人ホームに預ける話も出たが「亡くなってから後悔したくない。我が家にもいない、故郷にもいない母は私にとって母ではなくなってしまう。」との思いで、岩国から引き取り在宅介護をする決意をされた。

自宅に引き取り介護保険の申請をしたところ、要介護5に認定され痴呆も確認された。痴呆のお母さんとのつきあい方が分からないうちは、体重が7kgも減り、夜は精神安定剤を飲んで無理に寝るほど体が持たず、自分が先に死んでしまうのでは?と思ったそうだ。

しかし日々の介護のなかで、痴呆があるお母さんの目線に合わせるとコミュニケーションがうまくいくことを発見し、介護をする部屋のインテリアを自分好みにして介護者自身が楽しく過ごせるように工夫したり、夜の睡眠や排泄などに薬を上手に活用したり、介護サービスを最大限利用したりと、お互いを尊重するよ

生きるための七つの条件 金子卯時雨

- 一、環境がなければならない
- 一、生活体がなければならない
- 一、神経（心）が働いていなければならない
- 一、呼吸をしていなければならない
- 一、水分を摂っていなければならない
- 一、食物を摂っていなければならない
- 一、動いていなければならない

うな介護をされている。

また、坂口さんはお仕事でも実践されている、日本創建会金子卯時雨先生の「生きるための七つの条件」を応用した介護をされている。介護をはじめた時は瀕死の状態であったお母さんは、今歩くことこそできないが自分でご飯を食べ、排泄も知らせてくれるほどに復活された。歌を歌うことが大好きでだれかれ関係なしに話しかけるお母さんの様子は、文中のイラストやたまにページの端に出てくる「バッキー名言」（例：「明日はないと思って、精一杯生きてね」と坂口さん。バッキーより「明日はないと思って、精一杯介護せよ」と言われた。）から知ることができ、そのユーモアにふっと笑ってしまう。回復され、自分らしく生き活きと日々の生活を送られているのだなあとこちらまで嬉しくなる。

私事で恐縮だが、2月に父方の祖母が亡くなった。私の家は、正月と盆の年に2回父の実家に帰省するという典型的な核家族である。祖母は、祖父が亡くなった後1人で暮らしていたが、近年は入退院を繰り返しながら父の妹の家にはいた。最期の3カ月間は病院で過ごしたが、その間にいろいろなことを考えさせられた。寝たきりなので食欲がわかず、さらに弱ってしまうという悪循環。離れて暮らしているため、見舞いに行ったら後、病院にひとり残して帰らなくては行けない。

何度かこちらにおいでと誘ったが、住み慣れた土地を離れることはなかなか難しかった。

しかし、私達家族が救われたのは、病院に入院する前の1カ月間、母が単身赴任で祖母との二人暮らしをし、祖母が自分の家で祖母らしい生活が1カ月という短い期間ではあったができたことだ。

坂口さんの家はいつでも人が集うような家風だという。人が一番集うキッチンがお母さんの部屋ということもあり、人が来られても介護を家族の問題として閉

ざすことなく、ありのままを見てもらっているようだ。介護について考えてもらいたい。自分なりの介護方法を見つけて欲しいと書いている。

高齢者を取り巻く環境は、人それぞれ違う。この本は、できることをできるやり方で柔軟に介護をしたらいというヒントや勇気をくれる。ぜひご一読いただきたい。（愛甲 美帆）

編集後記

☞小生も津端家探検隊の一員として探検してきました。

噂のとおり家そのもの、家の中にあるもの、暮らし方等々、すべてに思い出、こだわりといった情報が一杯詰まったところでした。帰ってきてからも、所員や家族、知り合いなどと探検隊の話ネタを楽しむことができました。津端家にいた時間は、ほんの数時間でしたが、感動の余韻と他の人へ感動を伝えるといった「楽しみ消費時間量」あるいは「感動情報量」は数十倍以上の価値があった探検でした。

（や）

☞入社して1年が経ちました。この1年間の想像以上の発見や出会いに驚いています。直面する出来事に励まされ、助けられながら、脇目もふらずぶつかっていく毎日でした。

最近「時間は、自分でつくるもの」と知り合いにアドバイスを受けました。たくさんの情報を得られる中でそれを自分にどう活かしていくかが今の私の課題です。2年目となる4月からは、体当たりだけではなく、一呼吸おいてもっと周囲を見渡ししながら、物事に取り組めるように頑張っていこうと思っています。

（あ）

よかネット No.57 2002.5

（編集・発行）

（株）よかネット

〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-35 ホンダハピエ5F

TEL 092-731-7671 FAX 092-731-7673

http://www.yokanet.com

mail:info@yokanet.com

（ネットワーク会社）

（株）地域計画建築研究所

本社 京都事務所 TEL 075-221-5132

大阪事務所 TEL 06-6942-5732

名古屋事務所 TEL 052-265-2401

東京事務所 TEL 03-3226-9130